

2022年3月30日

大阪府看護学校協議会 研修委員会

令和3年度 第3回研修会のご報告

テーマ：教員がシミュレーション演習を実践するに至る過程を秩序をもたせて可視化する
～シミュレーション演習実践マニュアル動画と質疑応答～

講師：愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター
内藤知佐子先生

日時：令和4年3月18日（金）リアルタイム配信 研修参加27名
令和4年3月2日～3月28日 オンデマンド配信



《講義内容》

それぞれの学校では、2022年度から始まる新カリキュラムに対応し、臨床判断能力を育む取り組みに力を注がれているところです。その取り組みの一つとして、シミュレーション教育に取り組む先生方の“道しるべ”となるべく研修が今回行われました。

研修は、第1ステージで講師の先生のステップ1～ステップ3で構成された動画による講演。第2ステージは実践例とGW、意見交換を含めた、内藤先生の魅力に引き込まれたオンライン研修となりました。研修終了後もオンデマンド配信されているため、複数回受講も可能となり、学びを深める機会がふんだんに盛り込まれた研修となりました。

《概要》

オンデマンド研修ではステップ①3年間のカリキュラムデザインの中に組み込む「本当にシミュレーションがベスト？」ステップ②目標を絞り、シナリオを作り込むステップ③振り返りのコツ、などシミュレーションに取り組むときの順序とコツを分かりやすく教授して頂きました。これにより、今現に取り組んでいるシミュレーションのブラッシュアップ、ステップアップ、振り返りとなりました。

さらに、リモート研修ではアイスブレイクで内藤先生のシミュレーションの様子にくぎ付けとなり、事前に頂いた、小児看護学実習の工夫は？時間はどのくらい？突然の状況設定に効果は？など質問に対して、実践例を加えながらアドバイスを頂きました。ブレイクアウトでの意見交換では各校の実践例や困っていることなど共有することができました。

《振り返り》

事前申し込み、27校。70名。オンデマンド視聴回数（2022年3月2日～3月28日まで）合計559回。リアルタイムオンライン参加27名。アンケート回収42件。アンケートでは、講義内容について全ての方が「大変良い」「良い」と答えられており、「短い時間の中でも参加者それぞれの関心が高い事柄に対して意見交換と先生からの回答をいただくことができた」「実践的な内容で大変興味深かった。早速試してみたくなりました」と好評でした。リアルタイム研修とオンデマンド研修を併用しましたが、リアルタイム研修では「もっと聞きたかった」「他のグループの意見も聞きたかった」という意見が多数みられました。オンデマンド研修ではリアルタイムで聴講し、再度聴講した方もおられ、有意義に活用されていたご意見が多数みられました。

研修委員会では今後も、学生がキラキラと目を輝かせ、看護に魅了される、そんなワクワクが高まるような活動、企画を進めていきたいと思っております。ありがとうございました。